

学年	5年
----	----

	課題分析	授業改善策	改善状況
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 叙述を読み、概要を捉えることができる。</li> <li>・ ノートに自分の考えをまとめ、書くことができる児童が多い。</li> <li>・ 登場人物の思いや筆者の意見を読み取り自分の言葉で表現したり、それを発表したりすることが課題である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分の考えや意見、筆者の考えのまとめなどを自分の言葉で書く時間を必ず設ける。</li> <li>・ 文章を書くこと自体に課題がある児童も少なからずいるため、行数や文字数に目標を定め、書く意欲を高め、少しでも文章が書けるようにする工夫をしている。</li> </ul>	
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童の意欲にばらつきがある。意欲の乏しい児童はノートの記入が遅かったり、発言を全くしなかったりする。</li> <li>・ 教えるべき情報の取りこぼしがあり、テストの点数が伸び悩むことがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業の中で児童を引き付けるポイントや、確実に押さえるべきポイントを、教科書やテストを事前によく読むことで把握し、計画的に授業を進めていく。</li> </ul>	
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分の考えをもち課題解決を図ろうとする児童が多い。</li> <li>・ 既習事項を生かし、複数の解決方法を出して課題解決に取り組める児童が少ない。また、児童同士の基本的な四則計算の定着に差がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 習熟度別指導を生かして、基礎的な計算の定着を図りながら新出単元の学習に取り組む授業と、課題解決を中心にした授業に分けて取り組んでいく。</li> <li>・ どの授業でも基本的な計算課題に取り組む時間を設け、基礎計算の向上を図っていく。</li> </ul>	
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 顕微鏡を使った観察は意欲的で生き物に対する興味は高いように感じた。</li> <li>・ ノートを書くことに抵抗がある児童が一定数いるので個人で声掛けをしていく必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指示を明確にし、問題・予想・計画と分け、一人一人丁寧に見ていく。</li> <li>・ ノートも毎時間細かく見ていくようにし、書けていない児童に関しては根気強く声掛けしていく。</li> </ul>	
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個人の練習では、意欲的に活動しているが、全体の場面になると、場に合わない発言や行動をとってしまう児童がいる。</li> <li>・ 技能の個人差がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 見通しをもって活動ができるよう具体的な計画や決まりを提示していく。</li> <li>・ ペアや少人数のグループ活動を増やし、互いを認め合い自信をもって発表できる場面を意図的に作っていく。</li> </ul>	
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 意欲的に活動できている。</li> <li>・ すぐに発想できる児童、時間がかかる児童と個人差があるので、個々の声かけが必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業中のルールや自分のやるべきことを意識させた活動を身につけさせ、様々な表現方法の素材の経験させ個性的で伸びやかな活動ができるようにする。</li> </ul>	
家庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 非常に意欲的に取り組むことができている。</li> <li>・ 技術に個人差があり、中でも指導者に助けを求めることが難しい児童は著しく作業が遅くなっていることがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 机間巡視を徹底し、各児童の作業の進捗をよく把握しながら指導する。</li> <li>・ 実際に目の前で手本を見せることで理解できる児童も多いため、積極的に手本を見せる。</li> </ul>	
体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 意欲的に参加できる児童が多いが、運動能力にばらつきがあり、エネルギーを持って余している児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童のレベルに合わせて難易度を調整できるような活動も設定する。</li> <li>・ 新型コロナウイルスによって活動が制限されているが、その中でもできるような活動のバリエーションを増やす。</li> </ul>	

<p>外国語</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意欲的に活動に取り組み、楽しみながら授業に参加している。</li> <li>・基本的なあいさつや数、色など生活に関する英語表現や語彙の定着に児童各人に差がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Greeting、writing time、game time…と授業の流れを毎回一定にする。</li> <li>・ クラスルームイングリッシュや挨拶など、基本的な英語表現を毎回使うことで、定着を図る。</li> </ul>	
------------	---	---	--